

令和5年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

前回（令和5年3月3日）の議事内容の確認

令和5年8月7日（月）

1. 前回協議会の議事概要

- 令和5年3月3日に令和4年度第2回滋賀県渋滞対策協議会が開催された。
- 主に、滋賀県内の主要渋滞箇所の対策実施状況及び特定解除箇所について議論・共有を行った。

■令和4年度 第2回滋賀県渋滞対策協議会(R5.3.3)における議事内容

議事内容

(1) 主要渋滞箇所における対策の進捗状況について

- 主要渋滞箇所の対策進捗状況について報告を行った。
- 国道1号 野路中央交差点(草津市)の事業完了結果や、国道1号 大江四丁目交差点(大津市)及び国道1号 野路町交差点(草津市)については対策内容の見直しを行うことが了承された。
- 次年度以降のピンポイント対策箇所として、国道8号 友定町交差点(近江八幡市)および県道102号 打出浜交差点(大津市)における検討方針について共有した。

(2) 主要渋滞箇所における特定解除候補箇所について

- 現地の渋滞状況やETC2.0プローブデータを活用して特定解除の判定を行った。その結果、県道206号 小泉町交差点(彦根市)、県道558号 柳が崎交差点(大津市)、国道1号 本宮二丁目交差点(大津市)、国道307号 水口橋北詰交差点(甲賀市)、県道42号 野村中央交差点(草津市)、県道42号 木川町交差点(草津市)の6交差点について特定解除とすることが承認された。

(3) TDM施策の実施について

- 秋に実施された彦根市の社会実験の効果検証結果を報告した。
- 草津市・南草津駅ロータリー周辺の数値モニタリング結果を報告した。

(4) 今後の進め方について

- 主要渋滞箇所における事業の進捗を図り、継続的に交通状況のモニタリングを行う。
- 次年度新規渋滞対策箇所について具体的な検討を進める。
- TDM施策に取り組んでいる草津市や彦根市と連携し、今後の取組の共有や現状把握・効果検証などについて「技術支援」による施策の推進を図る。